



JSPS

日本学術振興会 学術システム研究センター 令和9年度新規研究員候補者の推薦について

お問い合わせはお気軽にどうぞ！

TEL:03-3263-1882

E-mail:rcss-senkou@jsps.go.jp



目次

1. 学術システム研究センターの概要
 - 組織、役割
 - 業務内容
 - 研究員の待遇等
2. 令和9年度新規研究員の推薦について
 - 選考基準(抜粋)
 - 推薦募集内容
 - 推薦に当たって

01 | 学術システム研究センター の概要



学術システム研究センターとは

Research Center for Science Systems (RCSS)

【設置】平成15年7月

【目的】厳正で透明性の高い評価システムの確立と、大学等で活躍する第一線級の研究者が課題選定から評価・フォローアップまで一貫して責任を持ちうるプログラムディレクター、プログラムオフィサー制度を整備することを目的として設置。

「競争的研究資金制度改革について中間まとめ」（意見） 総合科学技術会議 平成14年6月19日

3. 公正で透明性の高い評価システムの確立

(2) 研究課題管理者（プログラムオフィサー）等の設置

（第2期科学技術基本計画等においては、）各制度の個々のプログラムや研究分野で課題の選定、評価、フォローアップ等の実務を行う研究経歴のある責任者「**プログラムオフィサー**」と競争的研究資金制度と運用について統括する研究経歴のある高い地位の責任者「**プログラムディレクター**」を各配分機関に専任で配置し、競争的研究資金制度の一連の業務を一貫して、科学技術の側面から責任を持ち得る実施体制が整備されるよう努めるとされており、さらに以下のように具体的に推進する。

- ***プログラムディレクター（PD）**： 研究者としての経歴を有し、競争的資金の制度とその運用について統括する立場にある者
- ***プログラムオフィサー（PO）**： 研究者としての専門的な見識と知見に基づいて、審査や評価等の業務を行う者

学術システム研究センターとは

第一線の研究者の意見を反映した事業の制度設計・運営 ～学振のシンクタンク～

- 研究員はすべて非常勤
第一線で活躍するトップレベルの現役研究者が就任
- 任期は3年とし、流動性を確保
研究者の様々な声を業務に反映
- 審査そのものには一切関わらない
各事業の審査委員候補者の選考、審査結果の検証、
審査方式の在り方に関する提案・助言を通して
透明性の高い評価システムの確立に寄与



センター会議の様子

組織

公平・公正なピア・レビューの仕組みの根幹を支えるため、多様性を確保した体制を意識

令和8年4月1日(予定)

プログラムディレクター等

プログラムオフィサー
(主任研究員・専門研究員)

所長



大野 弘幸

副所長



西田 栄介



佐藤 嘉倫

顧問



小林 誠



佐藤 勝彦



福田 裕穂



岸本 美緒

相談役

参与

尾辻 泰一

人文学専門調査班 主任2 専門10

社会科学専門調査班 主任3 専門10

数物系科学専門調査班 主任3 専門11

化学専門調査班 主任3 専門9

工学系科学専門調査班 主任4 専門16

情報学専門調査班 主任3 専門8

生物系科学専門調査班 主任3 専門8

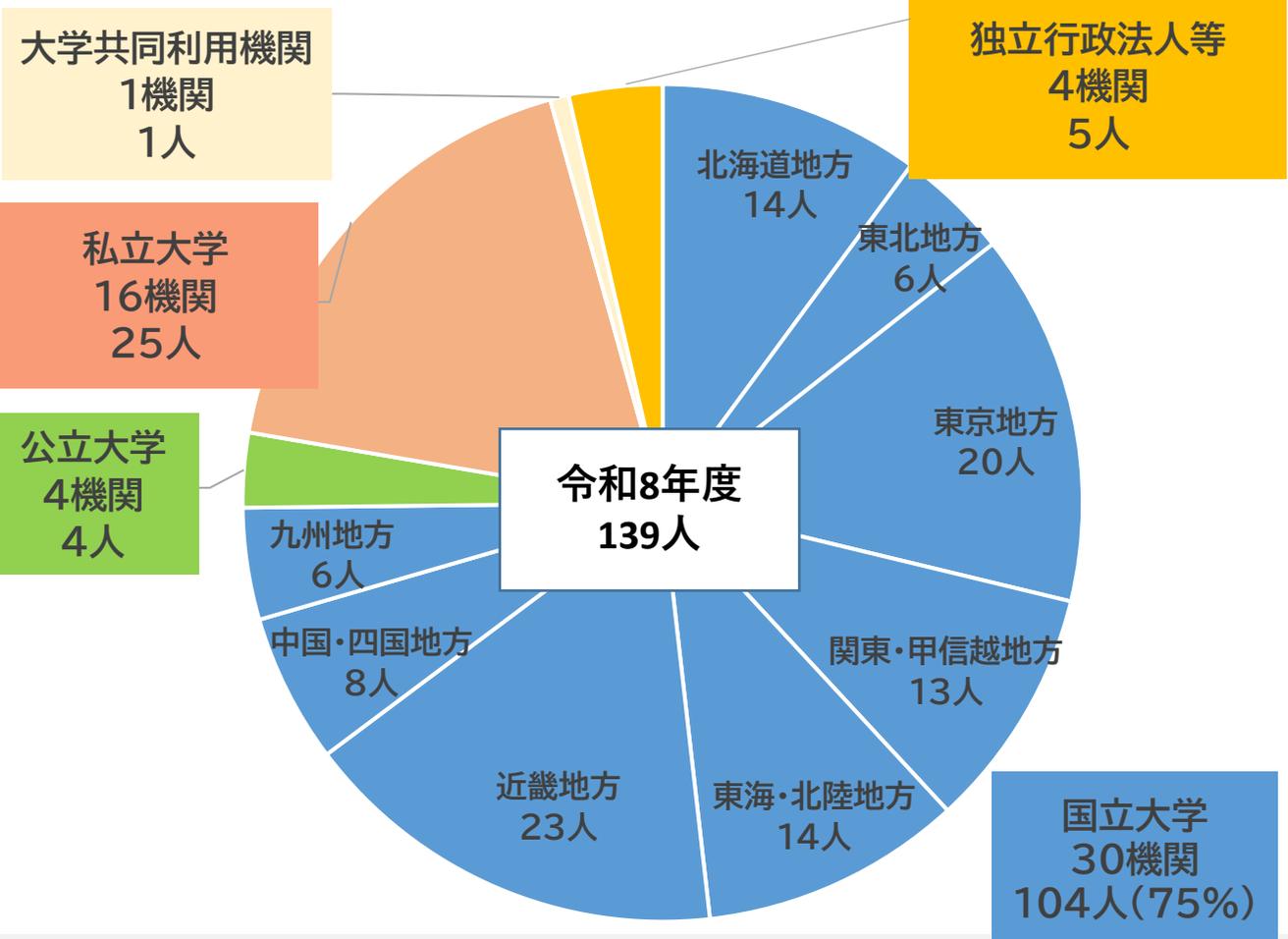
農学・環境学専門調査班 主任5 専門15

医歯薬学専門調査班 主任5 専門21

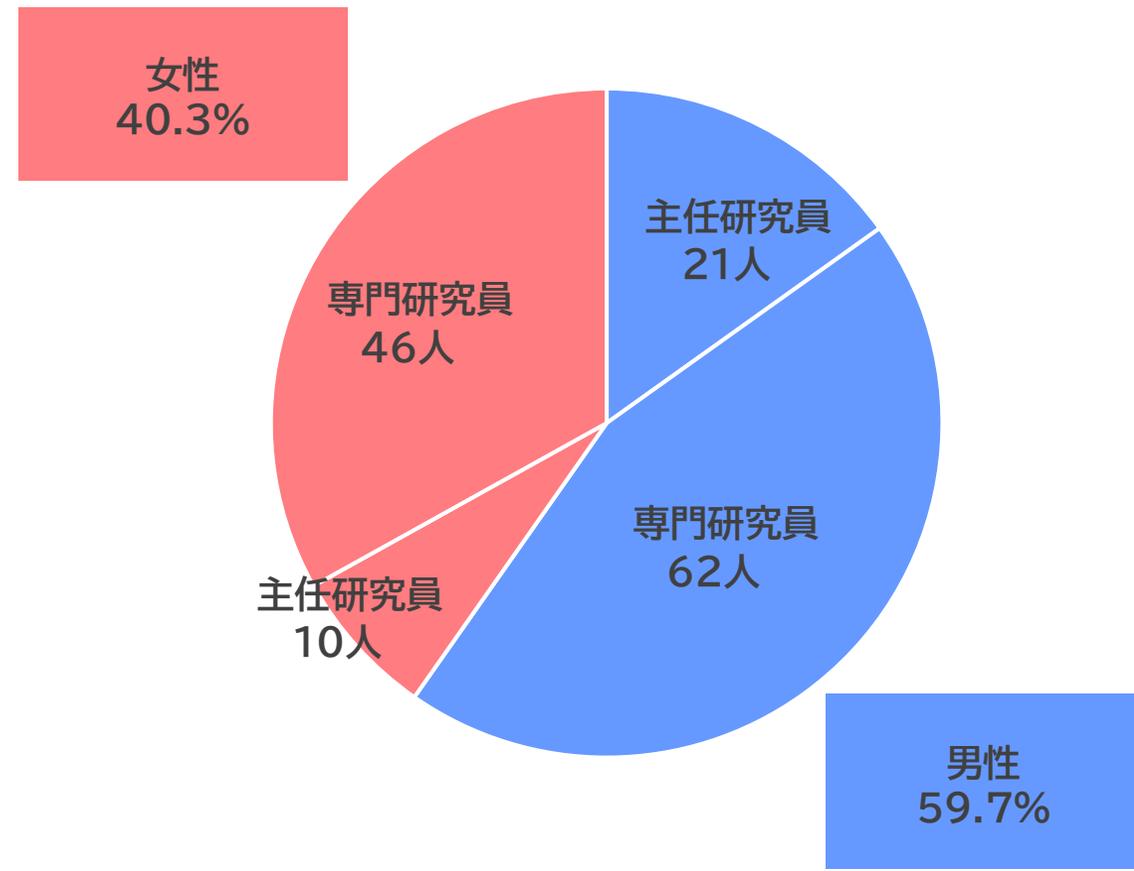
特命事項担当(科研費改革推進等) 主任1

組織

所属機関



ジェンダー



センター研究員の業務

第一線の研究経験を、学術振興に活かすために

審査委員選考、審査結果検証

科研費、研究者養成事業、学術国際
交流事業の審査委員選考や
審査結果検証

審査会出席 年数回程度

各種事業への提案・助言

科研費、特別研究員事業等の審査・評価
に関する議論

主任研究員会議出席(主任のみ) 月2回
班会議出席 月1回

研究者が主体的に
事業の設計、運営に参画

学術研究動向調査

国内外の学術振興方策や各分野の最新
の研究動向について調査・分析

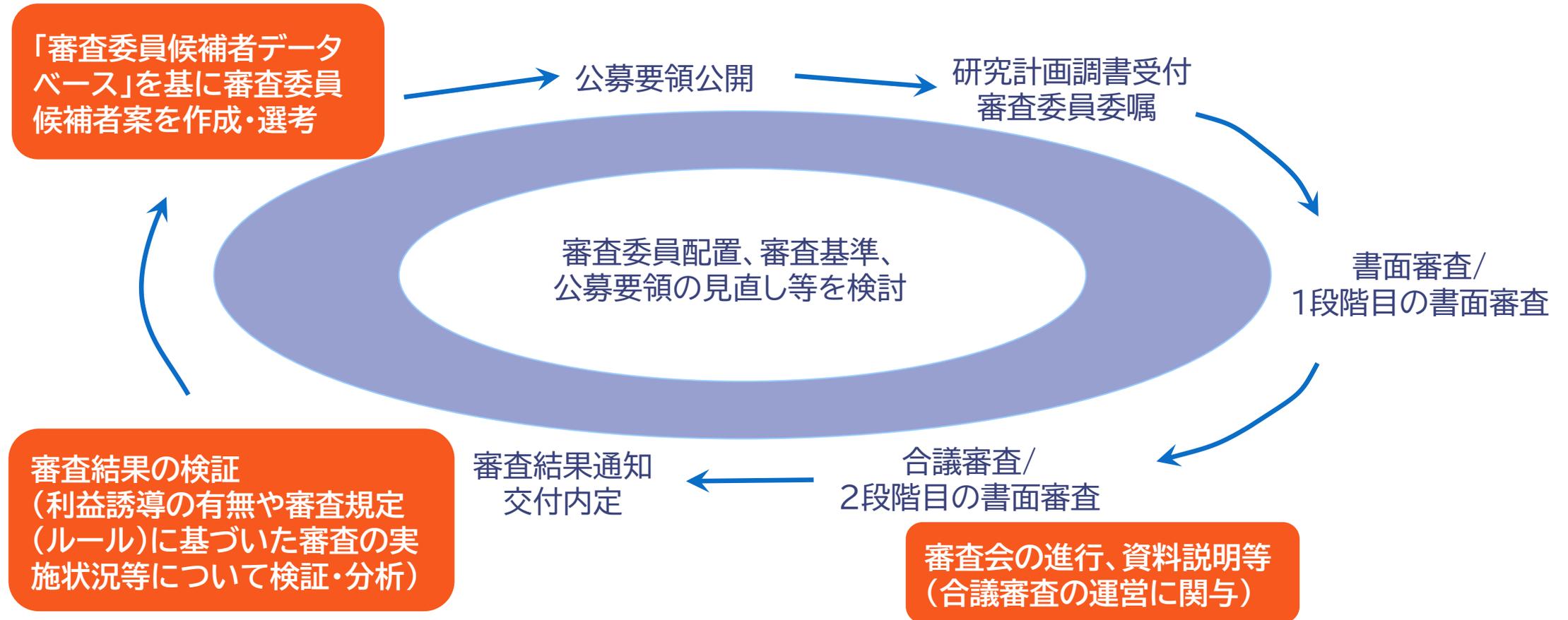
顕彰事業

日本学術振興会賞の査読、日本学術振興
会育志賞の予備選考

審査会等出席(主任のみ) 年数回

科研費に関する学術システム研究センターの役割

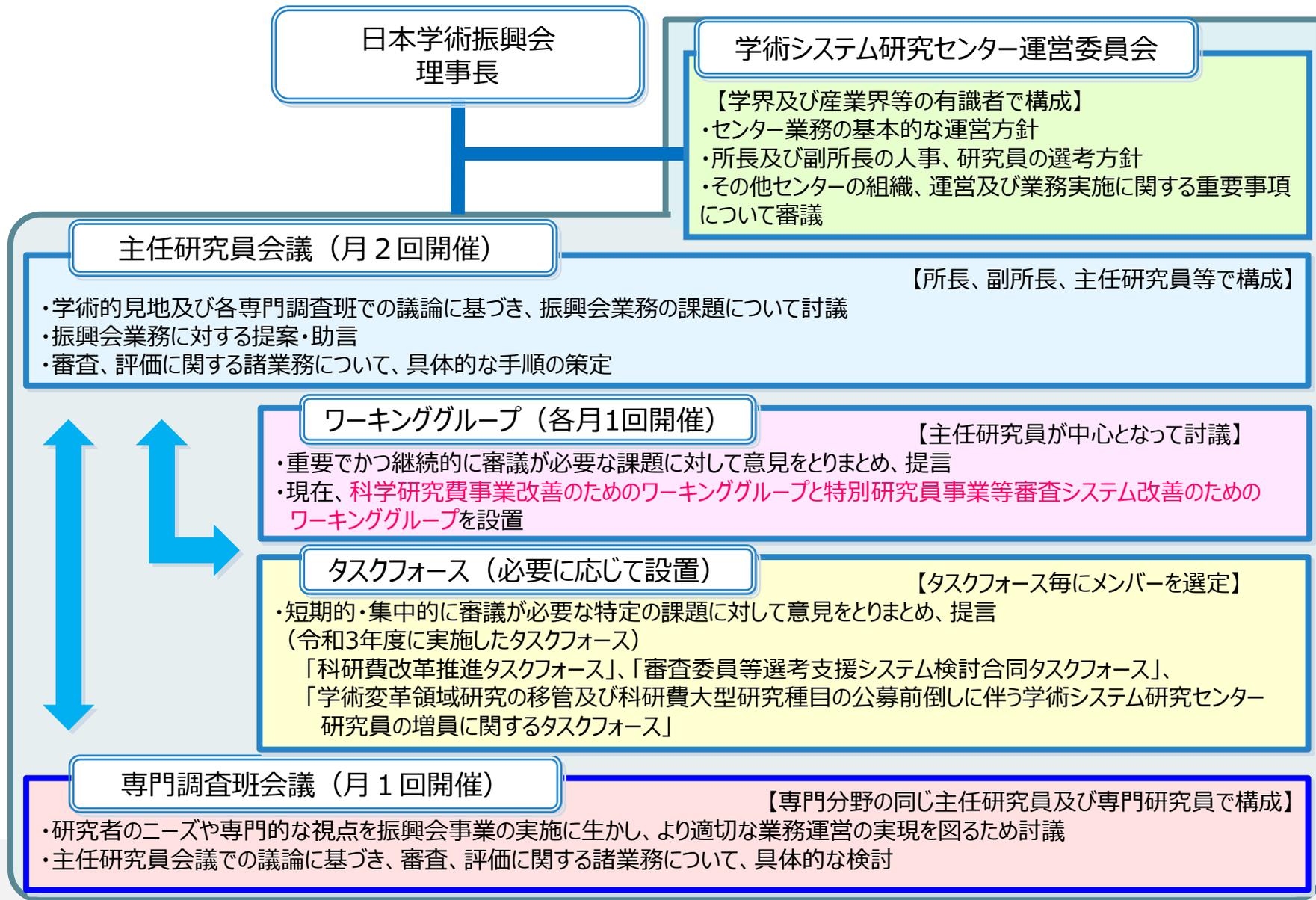
センター研究員は審査・採択そのものには関わらない



定例会議

基本はWEB開催ですが、
ハイブリッド(対面+WEB)
開催もあります

- ・主任会議は年6回
- ・班会議は年4回



令和8年度 センター会議開催日程

- ①主任研究員会議:第1、第3金曜日 10時～
- ②専門調査班会議:月1回開催。開催日は専門調査班毎に設定
- ③科研費事業改善のためのワーキンググループ(科研費WG):第1金曜日 13時～
- ④特別研究員等審査システム改善のためのワーキンググループ:第3金曜日 13時～

月	火	水	木	金
				第1金曜日 10:00-12:00 主任研究員会議 13:00-15:00 科研費WG 16:00-18:00 生物系科学専門調査班会議
				第2金曜日 13:30-15:30 農学・環境学専門調査班会議 16:00-18:00 数物系科学専門調査班会議
	第3火曜日 15:30-17:30 情報学専門調査班会議			第3金曜日 10:00-12:00 主任研究員会議 13:00-15:00 特別研究員WG 15:30-17:30 人文学専門調査班会議 社会科学専門調査班会議 } 合同
	第4火曜日 14:00-16:00 化学専門調査班会議			第4金曜日 13:00-15:00 医歯薬学専門調査班会議 15:30-17:30 工学系科学専門調査班会議

※月により変更の可能性があります。

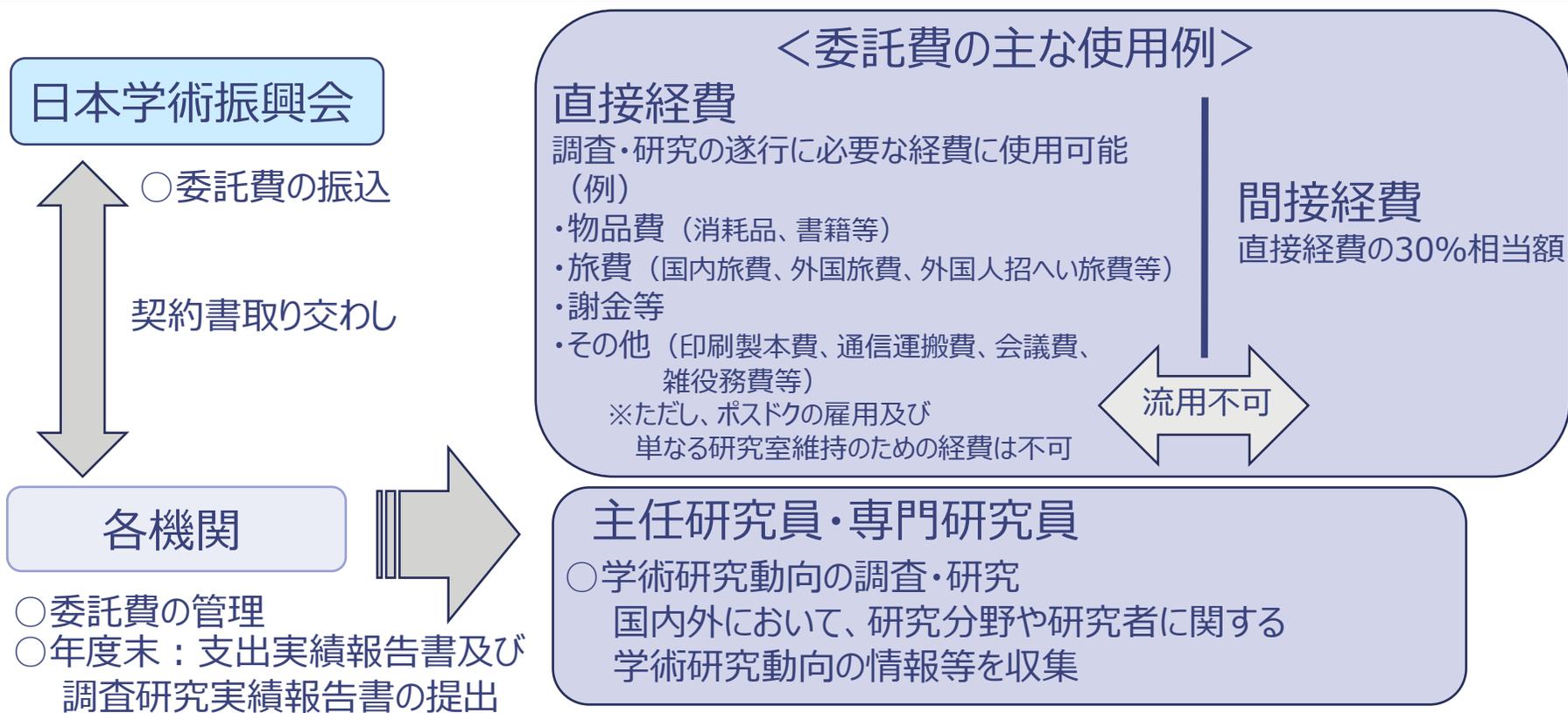
センター研究員の委嘱に係る条件・待遇

	【主任研究員】	【専門研究員】
委嘱内容	本会業務に従事 (年340時間・月28時間程度 ※会議出席時間は除く)	本会業務に従事 (年340時間・月28時間程度 ※会議出席時間は除く)
待遇	◆ 実務にかかる謝金 月額 110,000円〔税込み〕*	◆ 実務にかかる謝金 月額 92,000円〔税込み〕*
	◆ 会議出席謝金 日額 15,000円〔税込み〕*	◆ 会議出席謝金 日額 15,000円〔税込み〕*
	◆ 来会に伴う旅費・宿泊費	◆ 来会に伴う旅費・宿泊費
	◆ その他、振興会の業務遂行に必要な経費(実費)	◆ その他、振興会の業務遂行に必要な経費(実費)
委託	◆ 学術研究動向調査等研究費 直接経費:計画書に基づいて委託額を決定 (令和7年度標準額 400万円/年*) 間接経費:直接経費の30%相当額* ※機関への委託のため委嘱の業務外	◆ 学術研究動向調査等研究費 直接経費:計画書に基づいて委託額を決定 (令和7年度標準額 120万円/年*) 間接経費:直接経費の30%相当額* ※機関への委託のため委嘱の業務外

* 規程の改正等により金額が変更となる場合があります。

学術研究動向調査

- 研究員が最新の学術研究動向や学術振興方策についての調査研究を行い、振興会の学術振興事業への提案や業務実施の際の基礎資料として活用するとともに、その概要報告を一般に公開する。
- 日本学術振興会と研究員の所属機関が委託契約を取り交わす。



* 委託費の使用にあたっては、「研究活動の不正行為への対応ガイドライン」（文部科学省）等を踏まえ、適正な執行・管理に努めること。

02 | 令和9年度新規研究員の 推薦について



センター研究員の選考基準(抜粋)

□ 資格要件

- ・ 科研費等の**研究代表者**としての経験がある者又はその**審査に関わった経験**のある者。

□ 必要な資質

- ・ 専門分野を中心に学術研究に関する**幅広い識見**、**高い倫理意識**を有し、公正かつ適切な判断ができること。
- ・ 優れた研究能力を有し、**意欲があり**積極的な協力が期待できること。

□ 選考における留意点

- ・ 研究現場の第一線で活躍中であり、任期終了後も教育・研究機関において研究活動を継続する予定である者が望まれる。
- ・ 原則として、**前任者と同一の機関及び専門を同じくする者は選任しない**。
- ・ 国・公・私立大学及び大学共同利用機関、産業界の研究機関など所属する**機関のバランス**に配慮する。
- ・ **地域バランス及びジェンダーバランス**に配慮する。

新規研究員候補者の推薦依頼

依頼内容

- 募集する研究員の数44名 ※専門調査班ごとの数は推薦要項を確認ください
- 受付期間：令和8年3月23日（月）～ 4月10日（金）17時
- 推薦依頼HP：https://www.jsps.go.jp/j-center/po_senkou.html

お願いしたいこと

- 推薦人数の上限はありません。幅広い分野の推薦をお待ちしています
- 女性研究者の積極的な推薦をお願いします
- 研究員就任後は、機関内業務の負担軽減、事務局のサポート等の配慮をお願いします

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(人文学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【人文学専門調査班】

区 別	氏 名	性 別	所 属	専 門 分 野
主任研究員	中 島 圭 一	男	慶應義塾大学文学部教授	日本中世史
	松 田 真 希 子	女	東京都立大学人文社会学部教授	応用言語学(移民言語学、日本語教育)
専門研究員	石 井 香 江	女	同志社大学グローバル地域文化学部教授	ドイツ近現代史(社会史・ジェンダー)・地域研究(ドイツ)
	長 坂 格	男	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	文化人類学(移住研究・東南アジア)
	松 王 政 浩	男	北海道大学理学研究院教授	科学哲学、分析哲学、科学技術倫理
	長 谷 川 修 一	男	立教大学文学部教授	西アジア古代史、外国語文学(旧約聖書学)
	星 泉	女	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授	言語学(記述言語学)、文学(チベット文学)、地域研究(チベット・ヒマラヤ地域)
	小 山 弓 弦 葉	女	国立文化財機構東京国立博物館学芸研究部課長	美術史(工芸史)・博物館学(学芸・文化財)
	杉 木 恒 彦	男	広島大学人間社会科学研究科教授	宗教学(理論)・インド哲学仏教学(南アジア宗教)
	埴 淵 知 哉	男	京都大学文学研究科准教授	地理学(都市地理学、社会調査法)
	藤 川 玲 満	女	お茶の水女子大学基幹研究院教授	日本文学(近世文学)
	前 田 し ほ	女	島根大学学術研究院人文社会科学系准教授	文学(ロシア)、地域研究(旧ソ連諸国)

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

センター研究員を経験すると・・・

研究員経験者からの声

- 応募者や審査委員とは異なる視点から、科研費や特別研究員事業等の理解を深めることができた！
- 科研費の審査区分表の見直しに関する貴重な議論に参加できた！
- この業務がなければ知り合えなかった異分野研究者と交流できた！
- 自らの専門性を活かしつつ、幅広い視野で学術研究を捉えられるようになった！

研究機関にとっては・・・

- 各種事業の制度改善や審査委員選考に内側から関わり、深く理解する研究者が機関内にいる
- 本人だけでなく、機関全体への波及効果が期待できる

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(社会科学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【社会科学専門調査班】

区 別	氏 名	性 別	所 属	専 門 分 野
主任研究員	林 正 義	男	東京大学大学院経済学研究科教授	財政学、経済学(公共経済学)
	林 秀 弥	男	名古屋大学大学院法学研究科教授	法学(経済法、情報法)
	南 知 恵 子	女	椋山女学園大学現代マネジメント学部教授	商学(マーケティング、流通論)
専門研究員	三 浦 麻 子	女	大阪大学大学院人間科学研究科教授	心理学(社会心理学)
	村 上 あ か ね	女	桃山学院大学社会学部教授	社会学(家族社会学、社会階層論、社会調査法、比較社会論(オランダ))
	椎 葉 淳	男	大阪大学大学院経済学研究科教授	会計学
	松 澤 伸	男	早稲田大学法学学術院教授	法学(刑事法学)
	森 田 愛 子	女	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	心理学(教育心理学)
	今 井 順	男	上智大学総合人間科学部社会学科教授	社会学(経済社会学、労働社会学、社会的不平等、比較社会論)
	乙 部 延 剛	男	大阪大学大学院法学研究科教授	政治学(政治理論、政治思想史)
	亀 田 啓 悟	男	関西学院大学総合政策学部教授	経済学(経済政策)
	出 口 明 子	女	宇都宮大学共同教育学部教授	教育学(科学教育、理科教育)
	渡 邊 あ や	女	津田塾大学学芸学部教授	教育学(比較国際教育学、高等教育論)

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(数物系科学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【数物系科学専門調査班】

区 別	氏 名	性 別	所 属	専 門 分 野
主任研究員	岡 朋 治	男	慶應義塾大学理工学部教授	天文学(宇宙電波観測)
	久 保 英 夫	男	北海道大学大学院理学研究院教授	解析学(偏微分方程式論)
	道 林 克 禎	男	名古屋大学環境学研究科教授	地球科学(地質学・岩石鉱物学)
専門研究員	片 山 郁 文	男	横浜国立大学大学院工学研究院教授	物性物理学(光物性実験)
	田 中 真 紀 子	女	東京理科大学創域理工学部教授	微分幾何学
	萩 野 浩 一	男	京都大学大学院理学研究科教授	原子核理論(核子多体論)
	石 崎 章 仁	男	東京大学大学院理学系研究科教授	物性物理学(化学物理、物理化学の理論)
	倉 本 圭	男	北海道大学大学院理学研究院教授	惑星科学(惑星形成・進化)
	千 徳 靖 彦	男	大阪大学レーザー科学研究所教授	プラズマ物理学
	馬 場 彩	女	東京大学大学院理学系研究科准教授	宇宙物理学(X線・ガンマ線観測)
	上 坂 友 洋	男	理化学研究所開拓研究所主任研究員	原子核物理学(核反応)
	塔 隆 志	男	東京大学宇宙線研究所教授	宇宙線物理学
	高 橋 篤 史	男	大阪大学大学院理学研究科教授	代数幾何学
望 月 維 人	男	早稲田大学先進理工学部教授	物性物理学(磁性、スピントロニクス理論)	

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(化学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【化学専門調査班】

区別	氏名	性別	所属	専門分野
主任研究員	田中健太郎	男	名古屋大学大学院理学研究科教授	分子組織化学
	島本啓子	女	サントリー生命科学財団生物有機科学研究所特任研究員	生物活性分子化学
	松林伸幸	男	大阪大学大学院基礎工学研究科教授	凝縮系理論化学
専門研究員	阿部竜	男	京都大学大学院工学研究科教授	光触媒・触媒化学
	芹澤武	男	東京科学大学物質理工学院教授	生体高分子材料化学
	但馬敬介	男	理化学研究所創発物性科学研究センターチームリーダー	有機電子材料化学
	山内美穂	女	九州大学先導物質化学研究所教授	無機機能材料化学
	平野愛弓	女	東北大学電気通信研究所教授	ナノ・バイオ融合化学
	依光英樹	男	京都大学大学院理学研究科教授	分子骨格変換化学
	内田さやか	女	東京大学大学院総合文化研究科教授	分子クラスター化学
	竹岡裕子	女	上智大学理工学部教授	有機・無機複合材料化学
	長澤和夫	男	東京農工大学工学研究科教授	有機生命分子化学

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(工学系科学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【工学系科学専門調査班】

区 別	氏 名	性 別	所 属	専 門 分 野
主任研究員	小 熊 久 美 子	女	東京大学大学院工学系研究科教授	環境工学、水処理工学
	今 井 陽 介	男	神戸大学大学院工学研究科教授	バイオメカニクス、計算力学、数値流体力学
	西 澤 松 彦	男	東北大学大学院工学研究科教授	生体医工学、生体材料工学
	東 正 樹	男	東京科学大学総合研究院教授	材料科学(無機材料)、物性
専門研究員	伊 賀 由 佳	女	東北大学流体科学研究所教授	キャピテーション、気液二相流、ターボ機械
	大 野 宗 一	男	北海道大学大学院工学研究院教授	金属組織制御、計算材料科学
	進 士 忠 彦	男	東京科学大学総合研究院教授	電磁力応用デバイス・システム
	関 口 康 爾	男	横浜国立大学大学院工学研究院教授	磁気光学
	多 湖 輝 興	男	東京科学大学物質理工学院教授	反応プロセス工学、資源循環工学
	谷 口 綾 子	女	筑波大学システム情報系教授	交通計画、リスク・コミュニケーション
	井 料 隆 雅	男	東京大学大学院工学系研究科教授	交通工学、交通ネットワーク分析
	越 水 正 典	男	静岡大学電子工学研究所教授	材料科学(有機無機ハイブリッドほか)、放射線計測、量子物理化学
	高 村 由 起 子	女	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科教授	材料科学(ナノマテリアルほか)、表面科学
	野 田 優	男	早稲田大学理工学術院教授	化学工学・材料プロセス
	山 村 和 也	男	大阪大学大学院工学研究科教授	超精密加工、プラズマ援用加工、電気化学援用加工
	梅 津 理 恵	女	東北大学金属材料研究所教授	金属材料学、磁気物性学
	岡 崎 太 一 郎	男	北海道大学大学院工学研究院教授	構造工学・耐震工学
	河 内 俊 憲	男	岡山大学学術研究院教授	圧縮性流体力学、空気力学、先進流体計測
	繁 富 香 織	女	北海道大学大学院教育推進機構准教授	折紙工学、微細加工、再生医療
	高 瀬 恵 子	女	東京農工大学工学研究院准教授	量子効果デバイス、量子計測、量子物性、ナノ構造開発

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(情報学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【情報学専門調査班】

区 別	氏 名	性 別	所 属	専 門 分 野
主任研究員	吉 村 奈 津 江	女	東京科学大学情報理工学院教授	脳情報デコーディング
	村 尾 美 緒	女	東京大学大学院理学系研究科教授	量子アルゴリズム・量子情報理論
	山 口 弘 純	男	大阪大学大学院情報科学研究科教授	情報ネットワーク
専門研究員	井 上 弘 士	男	九州大学大学院システム情報科学研究院教授	計算機アーキテクチャ、大規模集積回路
	櫻 井 祐 子	女	名古屋工業大学工学研究科教授	知能情報学
	大 崎 美 穂	女	同志社大学理工学部教授	機械学習と知識発見
	滝 沢 研 二	男	早稲田大学理工学術院教授	計算力学
	灘 本 明 代	女	甲南大学知能情報学部教授	データ工学、SNS解析
	村 松 正 吾	男	新潟大学自然科学系(工学部)教授	多次元信号処理、画像処理
	石 原 亨	男	名古屋大学情報学研究科教授	LSI設計自動化、集積システム
亀 井 清 華	女	広島大学大学院先進理工系准教授	分散アルゴリズム理論	

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(生物系科学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【生物系科学専門調査班】

区 別	氏 名	性 別	所 属	専 門 分 野
主任研究員	中山 潤 一	男	自然科学研究機構基礎生物学研究所教授	遺伝生化学
	澤 本 和 延	男	名古屋市立大学大学院医学研究科教授	神経発達・再生医学
	守 屋 央 朗	男	岡山大学学術研究院教授	システムゲノム科学
専門研究員	河 野 礼 子	女	慶應義塾大学文学部教授	形態人類学
	颯 田 葉 子	女	総合研究大学院大学総合進化科学研究センター教授	進化生物学・ゲノム生物学
	丹 羽 隆 介	男	筑波大学生存ダイナミクス研究センター教授	発生・生理遺伝学
	坂 内 博 子	女	早稲田大学先進理工学部教授	生物物理学、神経科学
	深 城 英 弘	男	神戸大学大学院理学研究科教授	植物生理学・植物発生学
	中 川 真 一	男	北海道大学大学院薬学研究院教授	分子遺伝学・RNA生物学
	半 場 祐 子	女	京都工芸繊維大学応用生物学系教授	植物生理生態学・環境応答
	山 下 敦 子	女	大阪大学蛋白質研究所教授	蛋白質構造機能化学

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(農学・環境学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【農学・環境学専門調査班】

区別	氏名	性別	所属	専門分野
主任研究員	鏡 味 麻 衣 子	女	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授	水域生態学・微生物環境動態
	江 澤 辰 広	男	北海道大学大学院農学研究院准教授	植物と微生物の共生科学
	濱 村 奈 津 子	女	九州大学大学院理学研究院教授	バイオレメディエーション
	犬 飼 義 明	男	名古屋大学農学国際教育研究センター教授	植物環境ストレス耐性
	徳 田 誠	男	佐賀大学農学部教授	昆虫科学・群集生態学
専門研究員	加 藤 大 智	男	自治医科大学医学部教授	獣医学(寄生虫学・衛生動物学)
	木 村 克 輝	男	北海道大学大学院工学研究院教授	水環境・水循環・水処理
	菅 谷 純 子	女	筑波大学生命環境系教授	農業生産科学(園芸学)
	高 谷 直 樹	男	筑波大学生命環境系教授	農芸化学(応用微生物学)
	谷 晃	男	静岡県立大学食品栄養科学部教授	農業環境工学(農業気象、環境調節工学)
	川 島 千 帆	女	帯広畜産大学畜産フィールド科学センター教授	動物生産科学(動物栄養学)
	北 岡 卓 也	男	九州大学大学院農学研究院教授	木質科学(生物資源化学)
	澤 田 豊	男	神戸大学農学研究科教授	農業土木(土質力学)
	藤 本 貴 史	男	北海道大学大学院水産科学研究院教授	魚類育種遺伝学・魚類発生工学
	井 上 順	男	東京農業大学応用生物科学部教授	食品科学(食品機能)
	黒 川 紘 子	女	京都大学農学研究科准教授	森林生態学・多様性科学
	齋 藤 陽 子	女	北海道大学農学研究院准教授	農業経済学・開発経済学
	坂 口 綾	女	筑波大学数理物質系化学域教授	環境放射化学・物質循環
	坂 本 崇	男	東京海洋大学学術研究院教授	水圏生命科学(遺伝育種学・魚病学)
	濱 野 吉 十	男	福井県立大学生物資源学部教授	生体分子化学(ケミカルバイオロジー)

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。

(参考)令和8年度 センター研究員名簿及び専門分野(医歯薬学)

令和8(2026)年4月1日予定

が令和8(2026)年度で任期満了になり、今回の推薦で後任を募集する研究員

【医歯薬学専門調査班】

区 別	氏 名	性 別	所 属	専 門 分 野
主任研究員	宮 田 卓 樹	男	名古屋大学大学院医学系研究科教授	解剖学、神経発生(基礎)
	上 野 英 樹	男	京都大学大学院医学研究科教授	ヒト免疫学(基礎)、病態免疫学
	松 本 久 子	女	近畿大学医学部教授	呼吸器内科学・アレルギー内科学(臨床)
	宿 南 知 佐	女	広島大学大学院医系科学研究科教授	運動器科学・幹細胞生物学(基礎)
	田 中 謙 二	男	慶応義塾大学医学部教授	精神神経科学、神経科学(臨床)
専門研究員	石 川 拓 司	男	東北大学医工学研究科教授	生体医工学(基礎)
	石 丸 直 澄	男	東京科学大学大学院医歯学総合研究科教授	口腔病理学・口腔免疫学(基礎)
	磯 部 紀 子	女	九州大学大学院医学研究院教授	神経内科学(臨床)
	岡 田 誠 司	男	大阪大学大学院医学系研究科教授	整形外科(臨床)
	清 川 悦 子	女	金沢医科大学医学部教授	実験病理学、細胞生物学(基礎)
	久 場 博 司	男	名古屋大学大学院医学系研究科教授	神経科学・生理学(基礎)
	谷 口 浩 二	男	北海道大学大学院医学研究院教授	病理学、腫瘍生物学(基礎)
	扇 田 久 和	男	滋賀医科大学医学部教授	生化学(基礎)
	木 村 元 子	女	千葉大学大学院医学研究院教授	免疫学(基礎)
	大 黒 多 希 子	女	金沢大学疾患モデル総合研究センター教授	生殖生理学・婦人科腫瘍(基礎)
	照 沼 美 穂	女	新潟大学大学院医歯学総合研究科教授	口腔科学、神経科学、薬理学(基礎)
	藤 永 由 佳 子	女	金沢大学医薬保健研究域医学系教授	細菌学(基礎)
	古 屋 敷 智 之	男	東京科学大学医歯学総合研究科教授	薬理学、神経科学(基礎)
	正 宗 淳	男	東北大学大学院医学系研究科教授	消化器病学(臨床)
	横 島 聡	男	名古屋大学大学院創薬科学研究科教授	化学系薬学・医薬化学
	池 田 奈 由	女	医薬基盤健康栄養研究所栄養疫学・政策研究センター栄養社会科学研究室室長	栄養疫学・政策研究、健康・栄養社会科学(基礎)
	大 江 真 琴	女	金沢大学保健学系教授	創傷看護学、看護理工学(臨床)
	滝 田 順 子	女	京都大学大学院医学研究科教授	小児科学、小児血液腫瘍学(臨床)
	戸 塚 ゆ 加 里	女	星薬科大学薬学部教授	生物化学的分析、がん原物質探索(基礎)
	藤 村 幹	男	北海道大学医学研究院教授	脳神経外科学(臨床)
眞 庭 謙 昌	男	神戸大学医学研究科教授	外科学、呼吸器外科学(臨床)	

* 選考にあたり、調査班内の専門分野の補完性と重複に配慮します。また、原則として前任者と同じ所属機関、同じ専門分野からは選任しません。